

第 2 回府中市市民協働推進会議 会議録

日 時 平成 3 0 年 7 月 1 9 日 (木) 午後 2 時 ~ 5 時
会 場 市役所西庁舎 3 階第 2 ~ 4 委員会室
出席者 (委員)
藤江会長、荒金委員、池上委員、井上委員、木村委員、草郷委員、
谷本委員、宮坂委員、吉井委員
(事務局)
前澤協働推進課長、新妻協働推進係長、黒田事務職員、高田事務職員
欠席者 長谷部副会長、奥村委員
傍聴者 0 名
議 事 1 開会
2 議題 評価作業 (1) 団体及び事業担当課ヒアリング
資 料 第 2 回府中市市民協働推進会議ヒアリングタイムスケジュール

1 開会

(会長) 定刻になりましたので、第2回府中市市民協働推進会議を開会します。

事務局から本日の委員の出席状況などについて、報告をお願いします。

(事務局) 本日はご多忙のところ、また、お暑い中本会議にご出席いただき、ありがとうございます。事務局から何点かご報告を申し上げます。

まず、本日の出席状況でございますが、長谷部副会長、奥村委員から欠席とのご連絡をいただいております。

本日は定数11名中9人の委員の皆様に出席いただいております。

したがいまして、過半数に達しておりますので、本会議は有効に成立していることを併せてご報告します。

続きまして、本日の傍聴ですが、傍聴者の申し込みはございませんでした。

(事務局より資料の確認)

(会長) それでは、議事を進めます。前回5月23日に実施した第1回目の会議の議事録につきましては、事前にご確認いただいておりますが、修正等でお気づきになることはございますか。

よろしいでしょうか。それでは、第1回目の議事録として確定いたします。

なお、会議の議事録及び資料は、市役所の情報公開室及び市ホームページで公開されますので、ご承知おきください。

事務局は、前回の議事録及び資料を、公開するよう手続きをお願いします。

2 議題 評価作業(1) 団体及び事業担当課ヒアリング

(会長) これより議題に入ります。事務局から説明をお願いします。

(事務局) それでは、資料と、参考でお配りしております「第2回市民協働推進会議ヒアリングイメージ」も併せてご覧ください。

まず、本日の会議の内容ですが、資料のとおり評価対象事業3事業のヒアリングを行います。

ヒアリングを効果的に行っていただけるよう、午後2時50分頃までの間に、皆さまに事前にご検討いただいた質問事項のすり合わせを行っていただきます。

その後、午後2時55分頃を目途に会場に移動していただきまして、午後3時からヒアリングを開始いたします。

ヒアリングに当たっては委員の皆さまに3名ずつの3グループに分かれていただきます。ヒアリングは1事業35分程度で、事業概要の説明5分、質疑応答30分で行っていただきます。

質疑応答は、ヒアリングシートをご活用いただきながら、粗を探すとい

うよりも、協働を意識することで事業にもよい効果が生まれることをそれぞれの主体に気づかせ、協働事業をより良いものとするができるようにといった視点で、ご質問いただければと考えております。

ヒアリングの終了予定時間は午後3時40分で、まずそれぞれでシートの記入を行っていただいた後、午後4時から、各グループで意見交換を行ったうえで、各事業の評価をまとめていただき、グループにおける評価シートの作成を行っていただきます。

質疑応答や各事業の意見や評価については、事務局が書記として各グループにおりますので、事務局で取りまとめ、次回の会議の資料といたします。

また、あわせて評価シート自体についての意見交換を行っていただきます。

評価を終えた直後の段階で、評価しづらく感じたことや疑問に思ったこと、改善すべき点など、率直なご意見等をお願いいたします。

時間は評価作業と評価シートについての意見交換を合わせまして50分を予定しています。

恐れ入りますがお手元の「協働事業評価答申案検討シート」をご覧ください。

第3回の推進会議で本で行ったヒアリングや評価の実施について、各グループの評価結果を共有した後、答申案の基礎となる意見交換を実施します。

特に裏面は評価シートの見直しについての検討シートとなっておりますので、本日のヒアリング終了後の意見交換の際にも適宜ご活用ください。

なお、こちらのシートは第3回の推進会議終了後に回収させていただきますので、ご承知おきください。

ヒアリングのグループ分けにつきましては、選出母体や関連する事業等を考慮し、1グループとして、荒金委員、池上委員、宮坂委員、2グループとして、井上委員、奥村委員、谷本委員、3グループとして、木村委員、草郷委員、吉井委員にお願いしたいと考えております。なお、奥村委員は本日ご欠席されておりますので、藤江会長に2グループに入っていただければと考えております。

また、ヒアリングやヒアリング後の意見交換もございますので、各グループの進行役として、1グループの進行役を宮坂委員、2グループの進行役を藤江会長、3グループの進行役を吉井委員にお願いしたいと考えております。

続きまして、「平成30年度協働事業評価対象事業一覧(平成29年度事業実施分)事業概要」をご覧ください。本日は協働事業3事業の評価を行うものでございますが、5月28日に平成29年度提案型協働事業4事業

の評価を提案型協働事業選考部会の部会員の皆さまに実施いただいております。

本日の流れについては以上となりますが、ここでお諮りします。提案型協働事業選考部会の部会員の皆さまには、直近で評価を行っていただいておりますので、その際の視点などご報告いただければこの後のヒアリングの参考になると考えますがいかがでしょうか。

(会長) 説明が終わりました。進め方についてご質問等よろしいでしょうか。

事務局から説明があったとおり、5月に提案型協働事業の報告会があり、選考部会の吉井部会長、荒金委員、池上委員に評価を行っていただきました。ありがとうございました。事業の詳細な説明や評価結果については次回改めてお願いしたいと思いますが、評価を行って効果的だった質問や視点など、ここで何うことは効果的かと思えます。部会員の皆さま、いかがですか。

(委員) 3点あります。

1つは協働事業にふさわしい事業の性格であるかという観点から評価しました。

次に、市民への拡大、浸透や参加者数も評価の大きな柱になると思えます。

最後に、費用対効果で、予算に見合った効果が出ているか、今後事業の発展性が期待できるかの以上3点です。

(部会長) 相互評価シートにおける、市側と市民側の評価の差異がある場合の理由を伺いながら、お互いの思いを探っています。また、お互いの強みを十分理解し合っているかというところを聞いています。市と市民の協働で、委託などの金銭面や広報などに偏っていることがあるので、お互いの強みを理解し合って協働事業を進めているかに注目して質問しています。

(委員) 事業終了後の継続性や継続に当たって、両者がどのような必要性があって、市民協働で取り組んでいるかを質問しました。両者の強みというところで、役割分担がどこの段階で明確になっていたか、その役割がふさわしいものであったか、市側の役割として会場手配などの事務的なものまでで終わっている場合もありますので、もう一步踏み込んだ市民協働の在り方を質問の中で見出していければと思っています。

(会長) ありがとうございました。部会員の皆さまのご報告について、何かご質問はございますか。

ヒアリングをされる方たちは緊張されていませんか。

(委員) 皆さん緊張されていません。

(会長) 雰囲気や和らげるところまで、私たちができるか分かりませんが、昨年もヒアリングを受ける当事者間のやり取りや雰囲気も伝わってきますので、そういった点も注目していただければと思います。

それでは皆さまに事前にご検討いただいた質問内容を全体で共有したいと思えます。事務局は説明をお願いします。

(事務局) それでは、「第2回府中市市民協働推進会議におけるヒアリングの質問事項まとめ」と書かれた資料をご覧ください。

ヒアリングの質問事項について、事前にご検討、ご提出いただき、ありがとうございました。委員の皆さまよりお送りいただいた協働の視点での質問事項等を評価シートやヒアリングシートの項目に沿ってまとめたものがこちらの資料になります。

事業の経緯や関わり方等が違ふとはいえ、協働の原則に関連するものなど、ある程度共通して聞いておいた方がよい質問について、ご検討いただければと思えます。事務局からは以上でございます。

(会長) それでは、事業や相手方、関り方などに違いがあるため、一概には統一できませんが、方向性を共有しておく必要はあると思えます。時間の配分や事業自体を深く知るための質問等はそれぞれのグループにお任せしますが、これは必ず聞いたほうがよいという質問について、この表の中からも結構ですし、この中にないものでも構いませんので、ご意見ございましたらご発言をお願いいたします。

先ほど、3名の部会員の皆さんから指摘していただいた点がまとめの中にも入っています。事業についてと協働の視点などについて、協働の広がりの可能性、その他に分かれています。

事業についての項目では、事業の結果や費用対効果について、事業に継続性はあるかについては、先ほど委員より指摘いただいた点です。

協働の視点などの項目では、役割分担について書かれていますので、先ほど委員より指摘がありました。役割分担がいつ明確になったかなどの役割分担の中身について当事者に質問していただきたいと思えます。

また、弱みを補う補完的な部分も協働にはありますが、潜在的なものを引き出して生かしていくという意味では、お互いの強みを生かしていくことが大事なので、この点についても質問していただければと思えます。

協働の広がり可能性については、先ほど委員より指摘があった点でもございますが、事業によって市民への浸透をどのような指標で捉えるかなどは異なると思えますので、この点についても質問していただくと本日の質問がおおよそまとまると思えます。

ここに載っていない部分としては、評価にズレがあった際に、ズレについても質問していただきたいと思えます。

時間も限りがありますので、いずれも共通の意識を持って、可能な範囲で質問していただければと思えます。

その他に、共通で質問していただきたいことがあれば、ご発言いただきたいと思えますが、いかがでしょうか。

それでは、それぞれ質疑の流れもあると思いますが、共通の質問事項の確認ですので、意識していただければと思います。

今から午後2時50分くらいまでお時間を取りますので、グループに分かれて、質問する順番や、誰がどのような質問をするかなど、確認をお願いします。

(各グループで質問事項調整)

(会長) それでは、移動をお願いします。

3 その他

(ヒアリング終了後)

(会長) 皆さんお疲れ様でした。それでは、議題2のその他として事務局から何かありますか。

(事務局) 本日はヒアリングお疲れ様でした。3点ございまして、1点目が先程行っていただいたヒアリングの関係で、資料作成の参考とするため、皆様が作成したヒアリングシートと第三者評価シートをいったんお預かりさせていただき、次回の会議でお返しいたします。

2点目が次回の会議の日程です。

8月1日(水)午後2時から行います。内容といたしましては、各グループでの評価結果の共有と質疑を行った後、個別の評価を通して感じたことや第三者評価シートについてなど、答申の基礎となるご意見を頂戴したいと考えております。

また、提案型協働事業選考部会の評価結果の報告と、平成31年度提案型協働事業の応募概要の報告、平成29年度の行動計画の進捗状況についてご報告するとともに、市民協働の推進に関する条例の要否を含めた検討についてご議論いただく予定です。

3点目が本日お配りいたしました「協働事業評価答申案検討シート」についてです。

冒頭でもご説明いたしましたが、ヒアリングや評価の実施について、第3回の推進会議で評価結果を情報共有後、答申案の基礎となる意見交換を実施しますので、事前に検討シートをご記入いただき、第3回の推進会議にご持参ください。

検討シートは第3回の推進会議終了後に回収させていただきますので、ご承知おきください。

(会長) それでは、次回の会議は、8月1日ということで、よろしく申し上げます。以上をもちまして、閉会いたします。お疲れさまでした。

以上